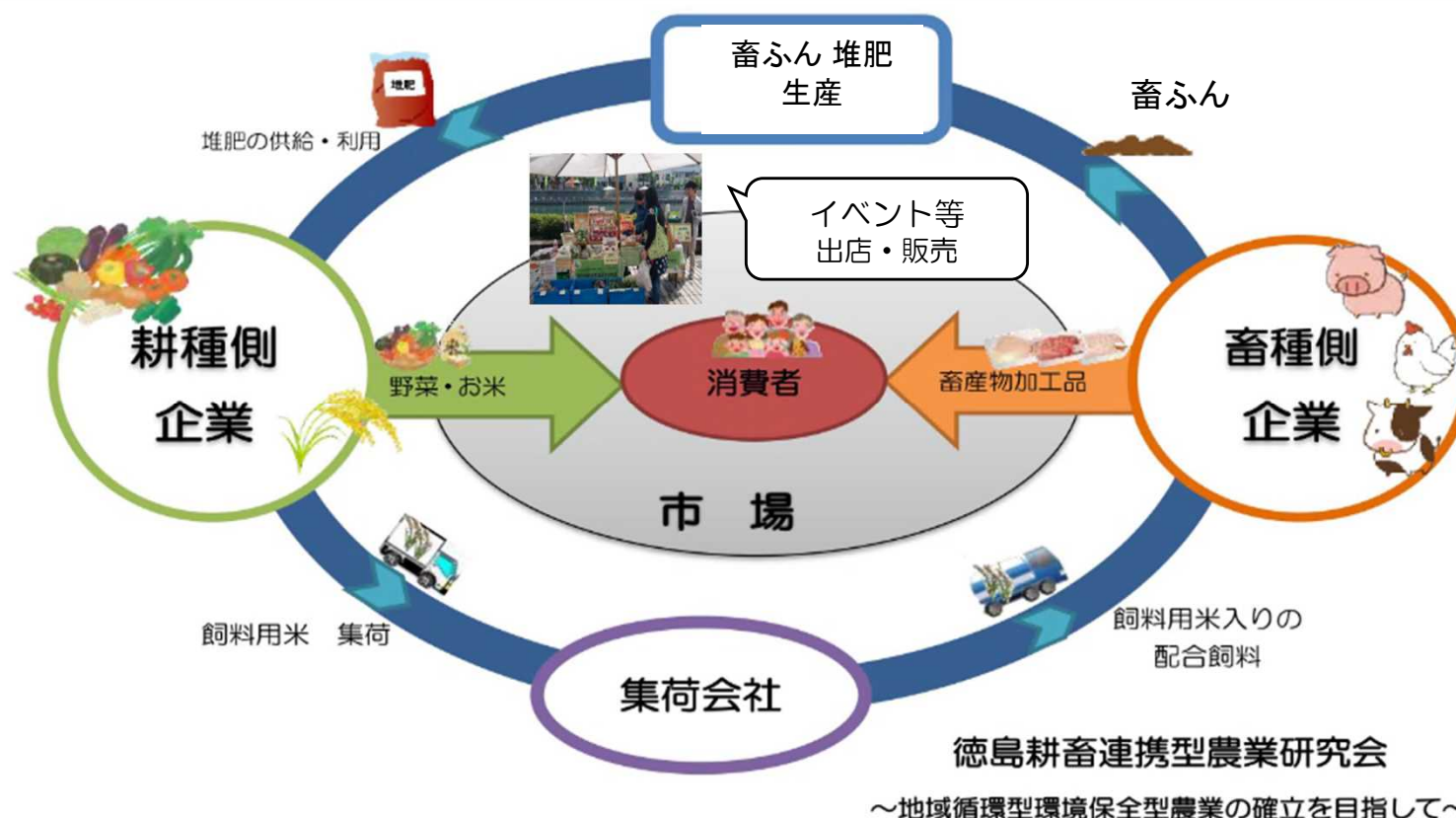


【耕畜連携】（徳島県 徳島耕畜連携型農業研究会）

- 徳島耕畜連携型農業研究会は、耕種農家、畜種農家、流通、市場の関係者が連携し、地域資源を有効に利用した持続可能な環境保全型農業を推進するため、平成20年7月に設立。
- 飼料用米を給与した家畜の畜産物を「大河のおすそわけ 国産飼料用米育ちのC・E・P」という統一ブランドとして販売するほか、畜ふんと地域未利用資源を活用した高品質堆肥を生産し、飼料用米や野菜のほ場に還元。
- 県内の飼料用米作付面積は平成21年の6.5 haから令和2年の558haに拡大。



※「C・E・P」はチキン・エッグ・ポークの略



統一ブランド



徳島耕畜連携型農業研究会
ロゴマーク

	H28	H29	H30	R1	R2
県内飼料用米作付面積	853ha	729ha	543ha	476ha	558ha
県内飼料用米需要量	3,610t	3,730t	4,810t	4,250t	4,925t